

「ふくいの食を通して健康で豊かな生活をつないでいく」を基本理念とする
第3次ふくいの食育・地産地消推進計画に基づき
食育・地産地消の2つの分野を互いに関連付けながら、多彩な取り組みを行っています。



「ふくい秋の味覚月間」および ふくい農林水産まるごとフェスタ



福井県では、県産農産物が豊富な10月中旬から11月中旬の1ヵ月間を「ふくい秋の味覚月間」とし、県内の食関連のイベントやキャンペーンを一体的にPRするとともに、メインイベントとして、福井の豊かな食・食文化とそれを支える農林水産業について学び、味わい、体験できるイベント「ふくい農林水産まるごとフェスタ」を開催しています。令和3年度は11月20～21日に開催し、嶺南エリアの食の食べ歩きや郷土料理レストラン、新鮮な地産食材の販売コーナーなど様々なブースが設けられ、多くの来場者でにぎわいました。

食育の“祖” 石塚左玄のふるさと



福井



働く世代への食育 「ふくいの食育推進企業」



働く世代の健康を食を通して応援する企業を「ふくいの食育推進企業」として登録し、その活動を支援しています。登録企業には、毎月食育情報メールマガジンを配信するほか、「ふくいの食育リーダー」による食育講座や農業体験が開催され、従業員が食について理解を深める機会となっています。



福井産！食べて当てよう キャンペーン

福井県産の農林水産物や加工品を購入し、県産を示すマークやラベルを3つ集めて応募すると、抽選で福井県の農林水産物があたる「福井産！食べて当てようキャンペーン」を実施しています。令和3年度は約5000件の応募があり、県産食材を広く県民にPRするとともに、県産食材の消費拡大を図り、農林漁業者の応援につなげました。



『全国高校生食育王選手権大会』

近い将来自立した食生活を送ることになる高校生が3人1組で食に関する知識や調理技術を競う「全国高校生食育王選手権大会」を、平成19年から毎年開催しています。

令和3年度第15回大会は、WEBブロック予選(食育クイズ)に延べ354チームが参加し、勝ち抜いた8チームによる決勝大会を、11月21日にコロナ対策のためオンライン形式で開催しました。食育クイズや、地域の課題を食で解決するレシピの考案・調理パフォーマンスで対決し、福井県立奥越明成高校のチーム「春爛漫」が優勝、「第15代食育王」の栄冠に輝きました。

